

# Research Assistantship (RAサポート)

- **RAship**は、理系博士課程大学院生が入学2年目以降に受ける経済的サポート

- ☞ 指導教員から研究報酬として受け取る代わりに、**研究の責任を負う**

- 授業料は、一般的に指導教員が研究報酬の一部として払う

- ☞ **RAshipは、どこからくるか？**

- ✓ **指導教員が獲得する研究費**

- ✓ **1人につき\$25,000-\$30,000/年が相場**

# 博士に魅力あるキャリアパスを

学生にとって博士課程に進学する魅力があるか？

- 学卒で就職したひと 27歳 500万／年の収入
- 博士学生 27歳 借金 600万円

👉 就職しても、その後の給与は学卒・修士卒と変わらない  
(学生、特に博士学生の社会的地位が低い)

経済的支援によりひとりでも優秀な学生が進学したくなる条件を整える

- 奨学金の強化 (行政側で)
- TAshipやRAshipの強化 (行政・大学側で)

👉 どうやってやるか？

# どうやって博士課程学生に支援を強化するか

- 学術振興財団のフェローシップを強化

- ☞ ピアーレビューによる審査

- ☞ 支援数増の考慮

- トレーニング・グラントとしてのCOEの見直し

- ☞ トレーニング・プログラムの強化（次ページ）

- ☞ トレーニーへの経済的支援の強化

- JSPS・JST競争的研究資金での課題関与学生への経済的支援の義務化（理系・文系両方に適応）

- ☞ 基盤A以上の研究費ではプロジェクト関与学生への経済的支援を義務化

- ☞ サプリメント的な研究費増額も考慮・・・間接経費？

- ☞ 全てのJSTの予算でも上記と同様

# 能力を発展させる博士課程大学院教育を

## ➤ **Presentation**

英語での発表能力の向上を目指した教育

## ➤ **Proposal**（研究企画書）

自己で研究を立案し、まとめる能力の育成

## ➤ **Leadership Performance**

将来、社会で活躍するための能力育成  
(Problem solving ability)

# 大学院の国際化

- **日本語教育を充実させる**  
留学生には必ず日本語を使えるようになって、  
終了してもらう
- **事務手続きの英語化・留学環境の整備**  
留学に際した不安を取り除く
- **必要に応じた英語授業の導入**